

平成 27 年 11 月 15 日(日)午後 3 時～5 時 30 分頃(開場 午後 2 時 40 分)

歴史的まちなみの木造文化財・伝統的建造物をさまざまな災害から護り抜く

関西木造住文化研究会は、これまで、伝統木造の伝統文化を活かした防災性能の向上や再評価を目標に様々な活動を続けてきました。

こうした状況の中、平成 26 年度に文化庁委託事業(NPO等による文化財建造物の管理活用事業)として、「木造文化財建造物総合防災ネットワーク事業」に取り組みました。同事業は、木造文化財や伝建地区の防災事業を経験された防災各分野の専門家と協力し、木造文化財建造物の脅威となるさまざまな災害の実態を明らかにし、その対策を検討しながら、防災各分野の専門家と木造文化財建造物の所有者、管理者、保存団体等との連携・協力関係を築き、全国の木造文化財建造物を災害から守っていくネットワークづくりをしていくことを目的としたものです。

今回は、同事業の一環で取り組んだ「木造文化財建造物総合防災診断指針」の概要報告を通して、様々な災害から木造文化財・伝統的建造物や歴史的まちなみを護り、被害を軽減するための対策を参加者のみなさまと考えます。お気軽にご参加下さい。

* 同指針は、文化財の担い手(所有者・管理者・設計者・施工者)向けにわかりやすく

とりまとめた指針で、木造伝統構法の登録文化財建造物及び伝建地区の伝統的建造物を主対象としています。

プログラム (午後 3 時～5 時 30 分頃、終了後 懇親会)



室生寺樹木災害 (朝日新聞 1998.9.24)

- 1. これまでの伝統木造の防災性能向上や再評価の取り組み 田村 佳英(KARTH 防火・耐震研究チーム)
KARTH が 1998 年発足以降、取り組んできた研究成果と平成 26 年度文化庁事業の概要
- 2. 「木造文化財建造物総合防災診断指針」の概要報告
 - 1) 各種災害と対策
 - 火災と対策 木造真壁で、地震後火災の延焼も食い止める！ 長谷見 雄二(早稲田大学教授)
 - 震災、樹木災害、水害・土石流災害、雪害とその対策 KARTH 防火・耐震研究チーム
 - 2) 今後の課題 長谷見 雄二(前掲)
- 3. 意見交換



土蔵の類焼



地震による被害



樹木災害



土石流災害



雪害

会 場 西陣ヒコバエノ家(京都市上京区立売通浄福寺西入姥ヶ東西町 632 番地。江戸後期築。木造伝統構法による防火・耐震改修手法の有効性を防火・耐震実験で検証し再生した防火・耐震改修町家)

参加費(テキスト付き): 1000 円(学生 500 円)、終了後の懇親会 800 円(学生無料、差し入れ歓迎)

テキスト: 「平成 26 年度文化庁事業「木造文化財建造物総合防災診断指針」(A4 版 84 頁)

参加方法 お名前、所属、電話・FAX 番号、メールアドレスと懇親会の参加の有無を明記の上、11 月 12 日(木)までに FAX またはメール、電話でお申込み下さい。申込時点で参加受理とさせていただきます。ご返事は省略させていただきます。

参加申込先 NPO 法人 関西木造住文化研究会(略称 KARTH: カース)

TEL 075-411-2730 悠計画研究所内、FAX 075-411-2725、

E-mail info@karth.sakura.ne.jp <http://karth.org/>

京都市上京区立売通浄福寺西入姥ヶ東西町 632 番地

会場アクセス

- ・バス停「今出川浄福寺」、「千本今出川」、「千本上立売」より徒歩約 5 分
- ・JR 京都駅より(所要時間 約 40 分)

地下鉄烏丸線「烏丸今出川」駅下車、3 番出口、烏丸今出川交差点の今出川通 東側バス停から西行きバス乗車、「今出川浄福寺」下車

市バス利用: A3 の 206 番に乗車、バス停「千本上立売」下車、または B2 の 50 番、101 番乗車、バス停「千本今出川」下車

